

高知市に住むあなたのまちづくり活動を応援します

公益信託高知市まちづくりファンドニュース

まちファン

35号
36号

合併号
2021年3月1日



まちファンHP

NPOに寄付します！



目次

「まちづくりファンド」概要～助成事業・団体全リスト	1～2
ピックアップ団体	3～4
2019-2020年度 助成事業報告	5～8
運営委員さん紹介	9～10
まちづくりファンド NEWS	11～14
Village Jamboree (こどもファンド助成団体) 特別編集	

●ご存じですか？「高知市まちづくりファンド」

「公益信託高知市まちづくりファンド」という、市民の皆さんのまちづくり活動を支援するための助成事業があるのをご存じですか。

この事業は単なる資金面での支援にとどまらず、まちづくりの知識・経験豊富な運営委員らの意見に触れ、活動の問題点や課題について話し合う情報交換の場にもなっています。

また、助成先を決定する公開審査会や、事業の成果を報告するための中間・最終発表会は応募団体や助成団体に限らず、どなたでもご参加いただけます。

●運営方法は？

高知市が3,000万円を出し、四国銀行に信託しています。四国銀行が高知市まちづくりファンド運営委員会を設置し、高知市市民活動サポートセンターとともに運営しており、サポートセンターではNPOなどへの相談、アドバイス支援を行っています。

また、財団法人民間都市開発推進機構による「住民参加型まちづくりファンド」への資金拠出制度を活用し、高知市内におけるまちづくりのハード整備事業に対して、平成18年度から総予算1,000万円の範囲内で助成事業を行ってきました。

平成24年には、高知市が3,000万円の追加出しを行い、助成事業を継続しています。

※「公益信託」とは、委託者が財産を一定の公益目的に信託し、受託者（銀行）がその財産を管理・運営しながら、公益活動に助成する制度です。

2003 — 2020 助成団体数 114（一部名前統合を含む）

▶2003●第1回大高坂松丸祭実行委員会【第1回大高坂松丸祭～高知市開発の祈～】●つどいの和あさひの【閉じこもらないで、みんなで”和”になって探そ！作ろう!!”手作りの作品展”】●木の丸の聖堂会【住みよい地域づくりをめざして】●あさひの【街のまちづくり（はじめの一歩編）】●トマトの会【「食育を考える地域活動家養成の会～稚乳教室】●平田地公園愛護会【公園を拠点とした地域福祉活動の活性化を目指して】●高神札幌院【読書情報ノート】●はっぴーわくと【橋本知事と平井雷夫氏の公開インタビュー「大人が考えるまちづくり」】●芳原まちづくり協議会【「芳原・歴史とこどもふれあいの社】●絆・ふれあい高知【活動目的の達成に向けて、自立運営するためのみんなが懸念する場所「コミュニティカフェ絆」づくり】●2012●Sunday Market Supporters (SMS)【若者による土佐の日曜市の活性化に向けた取り組み】●特定非営利活動法人高知障害者スポーツ地域振興会【障害者スポーツを通じて障害者理解を深め、共に生きる地域づくりをめざそう】●こうちネットホップ【みんなで考えるホームレス支援と貧困問題】●高知街・ラ・ラ音楽祭実行委員会【音楽の力でまちを元気に！】●2013●NPO 法人要約筆記高知・やまも【要約筆記で情報バリアフリーのまちに！】●Sunday Market Supporters (SMS)【若者による土佐の日曜市の活性化に向けた取り組み】●特定非営利活動法人高知障害者スポーツ地域振興会【障害者スポーツを通じて障害者理解を深め、共に生きる地域づくりをめざそう】●こうちネットホップ【みんなで考えるホームレス支援と貧困問題】●高知街・ラ・ラ音楽祭実行委員会【音楽の力でまちを元気に！】●秋山こども会【共に生きる青春！】●お城下(まち)ベース【こどもも大人もてみたい】●学生コミュニティ-防災支援センター【防災ゲーム&ワークショップによる防災まちづくり】●2016●大津子ども会連合会【若者たちの活動を通して繋ぐ地域の輪。●高知北沢サイト【栄える】TOWN 実行委員会【新旧が融合し、元気に彩り【栄える】まちづくり】●2015●さくら【地域の共働り力を高め、介護予防につなげる】●大津子ども会連合会【若者たちの活動を通して繋ぐ地域の輪。●高知北沢サイト【栄える】TOWN 実行委員会【新旧が融合し、元気に彩り【栄える】まちづくり】●行川ホタルクラブ【ホタルと花が集う水辺と里の再生プロジェクト】●お城下(まち)ベース【こどもも大人もてみたい】●学生コミュニティ-防災支援センター【防災ゲーム&ワークショップによる防災まちづくり】●2016●大津子ども会連合会【若者たちの活動を通して繋ぐ地域の輪。●高知北沢サイト【栄える】TOWN 実行委員会【新旧が融合し、元気に彩り【栄える】まちづくり】●Kochi Leaders Program 実行委員会【音楽の力でまちを元気に！】●要約筆記で情報バリアフリーのまちに！】●長宗我部ファンクラブ【みんなで考えよう！長宗我部アイランドの開催】●特定非営利活動法人井戸端わもん【井戸端わもんを食卓へ、開き合う文化を地域社会にプレゼン！】●高知地域福の会【人と猫が共生できる街づくり～地域猫活動～】●シアター-TACOGURA【アート×地域。まつり・キャンプ・減災プログラム】●高知大学による飛ばし隊！！【ほたるを通して地域とつながる】●KOCHIのZOU【地域活動に参加する学生を増やそう】●高知ビッグバンド【高齢者による高齢者、地域住民のための豊かな暮らし】●はるのあじさいコミュニティクラブ【産官民連携によるあじさいの花復活を通じて地域コミュニティ活性化事業】●西畑夏祭り実行委員会【西畑花取り踊りの復活・祭りの再生】●春の七草フェスタ実行委員会【春の七草フェスタの開催】●まちづくり応援隊 輪・和の会【文化伝承によるつながる地域づくり】●2018●高知地域福の会【人と猫が共生できる街づくり～地域猫活動～】●シアター-TACOGURA【アート×地域。まつり・キャンプ・減災プログラム】●KOCHIのZOU【高知市のまちづくりに学生も参加するぞう】●高知ビッグバンド【高齢者による高齢者、地域住民のための豊かな暮らし】●はるのあじさいコミュニティクラブ【産官民連携によるあじさいの花復活を通じて地域コミュニティ活性化事業】●西畑夏祭り実行委員会【西畑花取り踊りの復活・祭りの再生】●春の七草フェスタ実行委員会【春の七草フェスタの開催】●トーマン団地生活会【トーマン団地第5 回桜祭り（桜ウォークラリー）】●育児は育自！実行委員会【子育て座談会～個性・特性の違いを活かせる共生社会のため～】●特定非営利活動法人キャリア・ライフ高知【無料電話相談】●長宗我部会【地元高知の人にとっと長宗我部氏を知ってほしい】●特定非営利活動法人ワークスマイラ高知ミュージアム【いろいろな楽しみを演出 Project】●2019●認定特定非営利活動法人高知こどもの図書館【高知こどもの図書館】の移動に伴う図書館の整備】●特定非営利活動法人井戸端わもん【井戸端わもんを地域へ。こころの居場所づくりプロジェクト】●高知ビッグバンド【高齢者による高齢者、地域住民のための豊かな暮らし】●はるのあじさいコミュニティクラブ【産官民連携によるあじさいの花復活を通じて地域コミュニティ活性化事業】●長宗我部会【地元高知の人にとっと長宗我部氏を知ってほしい】●特定非営利活動法人ワークスマイラ高知ミュージアム【いろいろな楽しみを演出 Project】●高知自作音楽教室実行委員会【高知で自作音楽教室をやるぞう】●脳卒中交流会 IN 高知【脳卒中で倒れ、入院後で命を救われた障害者への将来に対するアドバイス】●地域ふれあい祭り～共助、近所で仲間づくり～】●高知防災士部会【高知市津波避難路防災マップの作成】●旭アワーライブ芸術祭実行委員会【旭アワーライブ芸術祭】●ゆるゆる高知下町の会【地域を学び、地域を知って、新しいまちづくりに役立てよう】●NPO ハンドメイド普及チーム麗女の家【ハンドメイドの楽しさを高知に伝える】●2020●長宗我部顕彰会【現代に生きる長宗我部氏の浦戸のまちづくり】●全国ひきこもり KHJ 親の会高知県支部やいば【心と体をフルにフレッシュ！引きこもりの子どもを持つ母親の勇気】●CROSS SPORTS【高知まちづくりの第一歩は、健康づくりの第一歩から！】

●助成の対象となるのは？

活動の拠点が高知市内にある構成員3名以上の団体の、そのうち3分の1以上が高知市に在住（または通勤・通学）している団体が、自然環境の保全や住環境の整備、福祉、教育、文化、スポーツ、生涯学習など、高知市を住みよいまち、豊かな地域社会にしたいために行うまちづくり活動を対象としています。

ただし、営利を目的とする活動、宗教的活動、政治的活動、市の制度で補助金などの助成を受けている事業は、対象外とします。

●ファンドにはどんな種類があるの？

事業の内容や助成金額に応じて、次のような5つのコースがあります。



延べ事業数 174（同事業複数回実施）

●高知ユネスコ【～負ってなんだろう？～】●雨給台町内会【子どもたちが安心して遊べる公園に！誇れるふるさとにしよう！】▶2011●チャイルドラインこうち【チャイルドラインこうち「電話の受け手」ボランティア養成講座】●京園場商店街活性化委員会【雨張ろう菜園場（あの時の賑わいを取り戻したい）】●PROジェットH【大好きな高知を勉強しなおそう！】●特定非営利活動法人高知障害者スポーツ地域振興会【障害者スポーツを通じて障害者理解を深め、共に生きる地域づくりをめざそう】●こうちコミュニティクラブ【映画館で街なかにぎわいを】●芳原まちづくり協議会【「芳原・歴史とこどもふれあいの社】●絆・ふれあい高知【活動目的の達成に向けて、自立運営するためのみんなが懸念する場所「コミュニティカフェ絆」づくり】▶2012●Sunday Market Supporters (SMS)【若者による土佐の日曜市の活性化に向けた取り組み】●特定非営利活動法人高知障害者スポーツ地域振興会【障害者スポーツを通じて障害者理解を深め、共に生きる地域づくりをめざそう】●こうちネットホップ【みんなで考えるホームレス支援と貧困問題】●高知街・ラ・ラ音楽祭実行委員会【音楽の力でまちを元気に！】▶2013●NPO 法人要約筆記高知・やまも【要約筆記で情報バリアフリーのまちに！】●Sunday Market Supporters (SMS)【若者による土佐の日曜市の活性化に向けた取り組み】●特定非営利活動法人高知障害者スポーツ地域振興会【障害者スポーツを通じて障害者理解を深め、共に生きる地域づくりをめざそう】●こうちネットホップ【みんなで考えるホームレス支援と貧困問題】●高知街・ラ・ラ音楽祭実行委員会【音楽の力でまちを元気に！】●秋山こども会【共に生きる青春！】●お城下(まち)ベース【こどもも大人もてみたい】●学生コミュニティ-防災支援センター【防災ゲーム&ワークショップによる防災まちづくり】▶2016●大津子ども会連合会【若者たちの活動を通して繋ぐ地域の輪。●高知北沢サイト【栄える】TOWN 実行委員会【新旧が融合し、元気に彩り【栄える】まちづくり】▶2015●さくら【地域の共働り力を高め、介護予防につなげる】●大津子ども会連合会【若者たちの活動を通して繋ぐ地域の輪。●高知北沢サイト【栄える】TOWN 実行委員会【新旧が融合し、元気に彩り【栄える】まちづくり】●行川ホタルクラブ【ホタルと花が集う水辺と里の再生プロジェクト】●お城下(まち)ベース【こどもも大人もてみたい】●学生コミュニティ-防災支援センター【防災ゲーム&ワークショップによる防災まちづくり】▶2016●大津子ども会連合会【若者たちの活動を通して繋ぐ地域の輪。●高知北沢サイト【栄える】TOWN 実行委員会【新旧が融合し、元気に彩り【栄える】まちづくり】●Kochi Leaders Program 実行委員会【音楽の力でまちを元気に！】●要約筆記で情報バリアフリーのまちに！】●長宗我部ファンクラブ【みんなで考えよう！長宗我部アイランドの開催】●特定非営利活動法人井戸端わもん【井戸端わもんを食卓へ、開き合う文化を地域社会にプレゼン！】●高知地域福の会【人と猫が共生できる街づくり～地域猫活動～】●シアター-TACOGURA【アート×地域。まつり・キャンプ・減災プログラム】●高知大学による飛ばし隊！！【ほたるを通して地域とつながる】●KOCHIのZOU【地域活動に参加する学生を増やそう】●高知ビッグバンド【高齢者による高齢者、地域住民のための豊かな暮らし】●はるのあじさいコミュニティクラブ【産官民連携によるあじさいの花復活を通じて地域コミュニティ活性化事業】●西畑夏祭り実行委員会【西畑花取り踊りの復活・祭りの再生】●春の七草フェスタ実行委員会【春の七草フェスタの開催】●まちづくり応援隊 輪・和の会【文化伝承によるつながる地域づくり】▶2018●高知地域福の会【人と猫が共生できる街づくり～地域猫活動～】●シアター-TACOGURA【アート×地域。まつり・キャンプ・減災プログラム】●KOCHIのZOU【高知市のまちづくりに学生も参加するぞう】●高知ビッグバンド【高齢者による高齢者、地域住民のための豊かな暮らし】●はるのあじさいコミュニティクラブ【産官民連携によるあじさいの花復活を通じて地域コミュニティ活性化事業】●西畑夏祭り実行委員会【西畑花取り踊りの復活・祭りの再生】●春の七草フェスタ実行委員会【春の七草フェスタの開催】●トーマン団地生活会【トーマン団地第5 回桜祭り（桜ウォークラリー）】●育児は育自！実行委員会【子育て座談会～個性・特性の違いを活かせる共生社会のため～】●特定非営利活動法人キャリア・ライフ高知【無料電話相談】●長宗我部会【地元高知の人にとっと長宗我部氏を知ってほしい】●特定非営利活動法人ワークスマイラ高知ミュージアム【いろいろな楽しみを演出 Project】▶2019●認定特定非営利活動法人高知こどもの図書館【高知こどもの図書館】の移動に伴う図書館の整備】●特定非営利活動法人井戸端わもん【井戸端わもんを地域へ。こころの居場所づくりプロジェクト】●高知ビッグバンド【高齢者による高齢者、地域住民のための豊かな暮らし】●はるのあじさいコミュニティクラブ【産官民連携によるあじさいの花復活を通じて地域コミュニティ活性化事業】●長宗我部会【地元高知の人にとっと長宗我部氏を知ってほしい】●特定非営利活動法人ワークスマイラ高知ミュージアム【いろいろな楽しみを演出 Project】●高知自作音楽教室実行委員会【高知で自作音楽教室をやるぞう】●脳卒中交流会 IN 高知【脳卒中で倒れ、入院後で命を救われた障害者への将来に対するアドバイス】●地域ふれあい祭り～共助、近所で仲間づくり～】●高知防災士部会【高知市津波避難路防災マップの作成】●旭アワーライブ芸術祭実行委員会【旭アワーライブ芸術祭】●ゆるゆる高知下町の会【地域を学び、地域を知って、新しいまちづくりに役立てよう】●NPO ハンドメイド普及チーム麗女の家【ハンドメイドの楽しさを高知に伝える】▶2020●長宗我部顕彰会【現代に生きる長宗我部氏の浦戸のまちづくり】●全国ひきこもり KHJ 親の会高知県支部やいば【心と体をフルにフレッシュ！引きこもりの子どもを持つ母親の勇気】●CROSS SPORTS【高知まちづくりの第一歩は、健康づくりの第一歩から！】

ピックアップ団体

過去に助成を受けられた団体さんに、「良かった事、エピソード、感じた事、コロナ禍での変化、今後の展開」等についてお答えいただきました。(団体名：50音順)

●(特非) アテラーノ旭

助成回数：1回
事業年(コース)：2007年(まちづくり大きな一歩【ソフトからハードへ】コース)
事業テーマ：地域のネットワークの中心となる場をめざして
一空店舗を利用した空間整備一

コロナ禍感染予防対策で加湿器や、透明のパーテーション設置等に対応しましたが、今の状況では継続できないと判断し「お茶の間お話しスペース」を閉じることになりました。これまでは子どもたちが放課後、気軽に立ち寄り、色んなお手伝いをしてきていたので、とても残念で淋しいです。(2021年1月13日より再開)今後コロナが収束して、助成金を頂けるとしたら「こども食堂」専用のスペースや、無料学習塾の企画をあれこれと考えています。塾の先生は大学生や、引退した教員のシルバー世代にお願いし、子どもから大人まで世代を越えて一緒にコミュニケーションを取れる場所にしたい!というのが今の一番の夢です。



たぐいまれな連携中!
アテラーノ旭 × こうちネットホップ
2021年1月よりアテラーノ旭さんのご協力でも路上生活者へお弁当の配布を行っています!

●こうちネットホップ

助成回数：3回
事業年(コース)：2012、2013、2014(まちづくり一歩前へコース)
事業テーマ：みんなで考えるホームレス支援と貧困問題

12月の寒波の公園、市内を夜回り中に仲間の女性が、ホームレスの男性の誕生日を憶えていた。手には小さなケーキ、風が吹き荒れる中、仲間と円陣を組み、やっとロウソクに火が灯った。皆でパースディソングを歌い終わり、初参加の居酒屋店主がぼつりと。「他人ごととは思えん...明日は我が身かもしれん」切実に身に浸みたのだろう。店はどこも稼ぎ時に自粛せざるを得ない年末。支援する側とされる側、一層厳しい現実、絆が強くなる瞬間でした。過去にはまちファンの助成金で作った配布用ティッシュをみて連絡をくれた人もいました。彼らが発信するSOSを今後も決して逃さない様、活動を継続していきたいと、改めて仲間達と思いを強くした「ある夜の出来事」でした。



●Sunday Market Supporters

助成回数：4回
事業年(コース)：2010(まちづくりはじめの一歩コース)、
2012、2013、2014(まちづくり一歩前へコース)
事業テーマ：若者による土佐の日曜市の活性化に向けた取り組み

土佐の日曜市の活性化を目的に9年間活動を行いました。同じまちづくりファン出身の「ラララ音楽祭」や市場を研究する県外の大学生、日曜市の出店者やお客さんなど、様々な目的で日曜市に集まる方々と交流できたことが、我々にとってよい経験となりました。特にお手伝いを通じて、出店者さんのお客さんへの思いやこだわり、考え方を学ぶことができました。活動を継続する上で大切なことは、「メンバーと議論を重ねること」です。仲間の考えを聞き、自分の考えを発信することがメンバーの自主性を引き出し、モチベーションの向上につながります。周りの人に興味を持つこと、自分に素直になることを大切にしたいです。



●シアター TACOGURA

助成回数：3回
事業年(コース)：2016、2017、2018(まちづくり一歩前へコース)
事業テーマ：アート×地域。まつり・キャンプ・減災プログラム

演劇という「密」の空間が生むパフォーマンス、これが出来ない事で、今、主流になっているのがネット配信です。ただ僕らのような地方の演劇も、海外の予算をかけた派手なミュージカルも、同じ土俵に晒されてしまいます。小さい規模の演劇もネット配信でその良さを伝えるためには配信用の機材や、使いこなす技術の習得が必要になるので、その部分を助成金でカバーできると活動が活発化し継続への道筋が見えてくると、期待しています。今後も予測不能な現象がおこるかもしれませんが、そこを乗り越えるには、まずしっかりと現実を受け止める。そして、色々な可能性を模索する為に、「考え方を柔軟にシフトする」この心持ちが一番重要ではないかと思っています。



●地域猫の会

助成回数：3回
事業年(コース)：2016、2017、2018(まちづくり一歩前へコース)
事業テーマ：人と猫が共生できる街づくり～地域猫活動～

野良猫の「捕獲機」は、助成金・使用対象外の「備品購入」^{注1)}ではなく、我々は消耗品と捉えています。今後は「対象経費」として認めて頂けるよう、柔軟な対応をお願いしたいです。助成を受けて嬉しかったのは、他団体や、町内会、議員さん等、幅広い人脈が広がったこと。この事で活動がしやすくなり、「地域猫」の周知に繋がりました。又、応募後の中間発表の準備で資料を作った経験が「活動をマネジメントする習慣」になり、現在も継続中。中期的展望としては、野良猫専門に手術する場所を確保し、低価格手術の獣医による集中的な不妊手術の実施です。そして「猫ボラ活動」の継続が、行政による「動物愛護センター」の早期設立に繋がれることを切に願っています。

注1) 備品購入は原則、助成金の対象外経費(2021年3月現在)。



●(特非) 要約筆記高知・やまもも

助成回数：4回
事業年(コース)：2005(まちづくりはじめの一歩コース)、
2012、2014、2017(まちづくり一歩前へコース)
事業テーマ：携帯用ホワイトボード作りによる聴覚障害者支援(2005)
要約筆記でバリアフリーのまちへ(2013、2014、2017)

私達は、中途失聴者・難聴者にその場の話しを文字にして伝える活動をしています。30年以上活動を継続していますが、多くの人に知ってもらうことに課題がありました。その為、まちづくりファンでは広報に力を入れることをミッションとして活用させて頂きました。活動は地味ですが、養成講座で基礎を学んだ後「通訳者」としてのスキルアップ、様々な後援会や専門的なセミナー等へ通訳者として参加するなど、「現場」で学ぶことが多いです。又、利用者から感謝の言葉を聞けた時にはやりがいを感じます。コロナ禍の変化は「考え方の変化」です。変化がなければ事業の継続は難しいという考えがでてきた今が、「変革のチャンス」だと思えます。





B まちづくり はじめの一步コース

上限
5万円



C まちづくり 一歩前へコース

上限
30万円

B1 高知で自作甲冑教室をやろう

高知自作甲冑教室実行委員会

自作甲冑教室の高知市開催を目指しスタート。先進取組を行っている坂出市自作甲冑教室を視察し準備を進め、12月開催の講演会「自作甲冑の魅力」では31名の方にご参加頂きました。またアンケート形式でニーズ調査をした結果、歴史組織等の期待が高いことがわかりました。今後も教室開催そのものが「まちづくり」であると考え、多世代が参加する場、交流する場として、甲冑づくりから地域の歴史を学ぶこと、それが様々な立場にある方の生きがいづくりになるように活動を継続していきたいです。



C1 第10回地域ふれあい祭り ～共助・近助で仲間づくり～

地域ふれあい祭実行委員会

入明町を中心とした地域は少子高齢化、空き家問題等があり、教育機関も多い地域ですが、防災の取組みは進んでいませんでした。自然災害時には行政中心でなく「共生・自助」に住民の方々助け合う「近助」の活動が基本となります。そうした思いから始まった「地域ふれあい祭り」は地域住民の多世代が参加できる地域祭とし、第10回開催の準備を昨年5月より進めておりました。しかしながら、今年3月に新型コロナウイルス感染拡大に伴い、中止の判断をしましたので、来年は盛大に開催したいと検討しています。



- A～Dコース【応募期間】2019/4/1(月)～6/15(月)【実施期間】2019/8/1(木)～2020/6/30(火)
- Eコース【応募期間】2019/8/1(木)～12/21(土)【実施期間】2019/8/1(木)～2020/2/29(土)
- 助成金総額 2,966,142円 ●助成事業数 B:2件、C:12件、D:1件 合計15件

C3 潮江地区津波避難路・防災 マップの作成

潮江防災士部会

潮江地区の避難路調査については、一昨年度から計3回の調査を開始し、8月より毎月の定例会を行いました。その後、新型コロナ発生により、会の開催ができない為、事業の完成が困難となりました。今後も潮江防災士部会で継続して計画を実施していく予定です。ハザードマップは、潮江東小学校、潮江南小学校が無事に作成することができたので、家族で防災について話をする事やマップを見ながら避難経路について調査・確認する行動につながればと考えています。



C5 地域を学び、地域を知って、 新しいまちづくりに役立てよう

知ろう歩こう高知城下町の会

地域を学び、地域を知って、新しいまちづくりに役立てるまちあるきとして2017年にスタート。今年度は10月に「竹林寺を中心として五台山を歩く」、12月に「護国神社・吸江寺を中心として五台山を歩く」を実施し、各回参加者は30名でした。今後も引き続き郷土の歴史のまち歩きを行う予定ですが、それだけでなく、青年国際交流の団体や外国人観光客の観光ガイドのボランティア団体との連携を生かし、もっと幅広い方へ高知の歴史を知る機会を与える活動を行っていききたいと思います。



B2 脳卒中で倒れ、入院先で命を救われた 障害者の将来に対するアドバイス

脳卒中交流会IN高知

毎月の定例会では同じ境遇の人々が語り合う事で気持ち前向きになり次月を楽しみして頂けるようになりました。また2月には「脳卒中交流会」を開催し、30名の方にご参加頂きました。当事者同士が繋がる事ができたので、退院後の鬱や自殺予防に貢献出来たら良いと思っています。高齢者や障がい者はテレワークで繋がる事が非常に困難だと実感したので、今後はアドバイスして頂ける方を幅広く募集して、更に活動が継続できるようみんなで色々検討していきます。



C2 重度障がい児(者)や ご家族の為にスポ・レク活動教室

はなまるキッズこうち

スポ・レク活動の体験講習会を12月に実施し、3家族の申込とスタッフやご家族含めて合計50名弱の参加がありました。専門職による運動支援の講習会は県外から講師を招き、埼玉(横浜)からは放課後デイサービス代表が見学されました。県内では特別支援学校や障害者支援施設、保健所、医療・福祉施設、介護タクシー事業所の方々にご参加頂きました。コロナウイルスの影響により中止となった事業もありましたので、今後は「今出来る事」を考えて少しでも前に進んでいきたいと思っています。



C4 旭オンリーワン芸術祭

旭オンリーワン芸術祭実行委員会

旭地域の隠れた人材や埋もれた作品にスポットを当てて、発表の機会を創出する、旭オンリーワン芸術祭を企画しました。10月に旭ソールをメイン会場とした芸術祭を開催。11月は振り返り写真展をイオン旭店で開催し、作品を出展した高齢者の方や子供達の世代間交流が盛んであったと感じました。また、実行委員会のメンバー同士で顔が繋がったことで、旭地域の課題についても話し合うきっかけとなりました。コロナ禍での2021年度開催については現在検討中です。



C6 子育て座談会～個性・特性の違いが 活かされる共生社会のために～

「育児は育自!」実行委員会

ママパパカフェは8月より合計10回開催し、計57名の参加者でした。宮地委員さんはじめ広報の協力を得て、経費を大幅に削減できました。参加された皆さまからは「話し相手が子どもばかりなので大人の人と話したかった」などの感想も頂きました。時間内に全員のお話を聞くには、ちょうど良い人数の方にお越し頂いていると納得すると同時に、年度が替わりスタッフの転勤や仕事の変化などもあり、今後どうやって仲間を増やしていくかに力を入れていく必要があると考えています。



【コロナ禍における中止事業等】

- ・2019年度助成事業2件(C1、C10)、最終発表会、交流会【意見交換会を実施(10P参照)】
- ・2020年度A～Dコース助成事業及び関連事業

C7 無料電話相談“聴いてもらって安心ホットライン”

特定非営利活動法人 キャリア・ライフ高知

日常生活の中で様々なストレスや悩みを抱えた時に安心して、気軽に相談できる出来ることの必要性を感じて、無料電話相談を始めました。毎週(金)2時間(午後6時～8時)、担当二人一組で対応し、9か月間で21件の相談実績ができました。無料電話相談が若者の引きこもりや「8050問題」、新型コロナウイルス関連の問題などについて、身近な隣人として悩みを軽減し、解決の糸口になれば、と考えています。周知についてはタウン誌への掲載やSNS等ネットを活用した広報にも取り組んでいきたいです。



C8 いろいろ楽しむ演劇Project

特定非営利活動法人 ワークスみらい高知 藁工ミュージアム

障がいのある方を含む様々な個性を持つ方や立場の人々が協働して演劇作品をつくり上演するプロジェクト。互いに刺激し、対等に認め、違いを楽しむ豊かな感性をはぐむ土壌を醸成し、多様な人が共生する社会への成熟に寄与することを目的としています。演劇に触れる機会創出と人材育成のため、高知県立盲学校にて2019年12月、2020年2月にワークショップを開催。

上演内容決定後、出演者とサポーターを一般公募で決定したが、新型コロナウイルス感染症の影響により公演延期。現在は感染症対策を講じつつ、作品づくりのための稽古を継続中。



C9 歴史を通して高知市への想いを深め、地域と人を結ぶ

長宗我部会

1月にモニターツアーを開催し、30名(内7名児童)が参加してくれました。子どもたちに高知市の歴史に触れてもらった事が非常に有意義に感じ、また、江戸幕末の観光資源に加えて、戦国時代の観光資源も高知市に存在することをアピールすることができたと思えました。長宗我部祭りが中止となったため、大河ドラマ化の署名活動最大の場を失ったことが残念でした。今後はWEB等も利用して署名活動を活性化し、ツアー参加者を増やす集客方法を探っていきたいです。



C10 産官学民連携によるあじさいの花復活を通じた地域コミュニティ活性化事業

はるのあじさいコミュニティクラブ

3期目の活動として、保守育成技術の蓄積だけでなく、広い視野に立った地域を活性化に関する課題を取り上げ、情報交流していこうという目的で高知県アジサイサミットの開催を企画しました。しかし、コロナウイルス感染拡大防止のため自粛。活動の締めくくりに、アンケートを作成し高知県内のアジサイ関係者にご協力をいただきました。このアンケートや今年の活動を通して今後の活動に繋げていければと考えています。



【2020年度助成事業】 たまごコース3事業 E1: 長宗我部顕彰会／現代に生きる長宗我部氏の浦戸のまちづくり E2: 全国ひきこもりKHJ親の会高知県支部やいる鳥／心身ともにリフレッシュ！ー引きこもりの子どもを持つ母親の為のヨガ教室ーE3: CROSS SPORTS 高知／まちづくりの第一歩は、健康づくりの第一歩から！

C11 高齢者による高齢者、地域住民のための豊かな暮らし創り

高知ビッグバンド

高知城歴史博物館屋外ステージを含む、計6回のイベントに参加できた。社交ダンスとカラオケのグループがバンド演奏と三位一体となし迫力のある楽しいステージを披露し、地域住民へのアピール。1年目は地域のイベント参加、2年目は高齢者の仲間づくり、3年目はバンドと参加してくれる高齢者とコラボ。それぞれの目標はほぼ達成。この活動を通じ、街角に音楽が当たり前になるように敷居を下げ文化を根付かせるきっかけとなった。又、芸能一座としてNPO龍馬倶楽部の結成したことで他団体とも横断的連携し活動を継続予定。



C12 井戸端わもんを地域へ。こころの居場所づくりプロジェクト

特定非営利活動法人 井戸端わもん

井戸端サロン・カフェは合計58回、井戸端わもん～話の聞き方教室～は延べ56名にご参加頂きました。コロナ禍で一部予定変更しましたが、オンラインを活かしながら、予定回数を達成できました。出会いの場の尊さと、こころの居場所の必要性は想定通りでしたが、利用者の要望に応えるために、ボランティアのファシリテーション力と、聞き力の高度さを求められることを実感しました。3回、まちづくりファンドにお世話になり仲間にも恵まれ、高知を発祥に全国に活動の輪が広がっています。



D まちづくり拠点整備コース

上限
100万円

D1 「高知こどもの図書館」の移動に伴う図書館の整備

認定特定非営利活動法人 高知こどもの図書館

3月5日に工事完了し、4月8日に一部オープン後コロナ禍で臨時休館。(現在は開館中)ファンドによって整備したフリースペースも開放感があり、また機能的にすぐれており、子どもたちが自ら考え主体的に活動していく場所としては、申し分のない空間となった。現在事業を実施している上での問題点の一つとして会費・寄付金・助成金以外の収入を多くは見込めないため、潤沢な資金を裏付けとした活動は難しく、職員以外の多くのボランティアが活動の支えになっている点があるので今後の課題として検討中。



E まちづくりたまごコース

上限
3万円

E1 ハンドメイドの楽しさを高知に伝える

NPOハンドメイド普及活動チーム 魔女の庭

2月「バレンタインワークショップ～土佐和紙でラッピング～」を実施した。親子でのご参加が多く、講師陣も参加者と笑いながら製作を楽しんだ。帰り際には「すごく楽しかった～!!」と子どもさんたちも喜んでいました。

小さな取組みだったが、ひとを元気にしたいというチーム理念が形にできた。今後も年に何度か開催し、ものづくりの楽しさを通して地域の人々に貢献したい。

又、各種講座、体験教室、製作物を販売するマーケット展開なども視野にいれ、皆様とつながりを持ち発展していきたいと思う。



— 運営委員さん紹介 —

2020年、年末に

皆さんに「コロナ禍の影響で変化/発見/進化した、コト、アレコレ」をお聞きしました

●運営委員長 増田和剛

(高知中・高等学校)

昨年とは違う、このコロナ禍の中で、様々な取り組みが中止、延期とまちづくり活動にも影響が出てきています。私の周辺においても、日常的に中止、延期と様々な行事が昨年度までとは違う動きとなっています。しかし、この状況を冷静に考えてみると、このような中止や延期による活動の停止により、新たに生まれた時間をどのように活用していくことができるのかという、新たな考え方が生まれてきたのも、夏場を過ぎた頃からでした。この時間の中で、これまでの取り組みを振り返り、取り組みのあり方や重要性など、取捨選択する時期にきたのではないかと実感しました。これまで、止まることなく進められてきた活動を冷静に且つ、客観的に捉えることで、コロナ禍でも可能な活動方法があるのではという考えに行き着いたところです。



●副運営委員長 堀洋子

(社団法人高知県建築士会)

・しごとの事：コロナ禍前、日頃からひとり事務所です仕事をしているので、仕事量は減ったが影響もなく変化も少ないです。所属している、建築士事務所の活動はストップ、会議はリモート会議が主でまだ参加していない。
・日常の事：おうち時間が増え、コロナニュースにはまり気味です。朝の散歩時にいつもの「おはようございます」の挨拶が出来ず、目と目でアイコンタクトをしている。日頃出来なかった庭の植木いじり（アジサイの手入れ、庭中にアサガオを咲かせた。）来年のための種採取でひまつぶし。不要に出掛ける機会が少なく、健康のために毎週の日曜市を徒歩で出掛けて楽しんでいる。不要な出費が少なくなった。



●運営委員 石川貴洋

(NPO法人環境の杜こうち)

まず、自身の生活や行動を考えると、外出時にはマスクを着けるようになった、マメに手洗えるようになった…くらい？ 案外「変化」は少ないような。仕事の上では、イベントやセミナー等の企画実施や出展といった予定は中止や変更を余儀なくされ、オンライン会議なども普通のこと。社会的には大きな変化が起きたと思いますが、渦中に居ると、人間は案外淡々と慣れてしまうモノなのかも知れない、というのは「発見」かも。そして、制約や新しい道具が出現した中で、今までやってきたことの問い直しにしばしば直面。そもそも目的は？対象は誰？どんな経緯で？等々。これは「進化」のチャンスと前向きに捉えたいですね。



●運営委員 片岡照敏

(社会福祉法人てくとこ会 自立訓練施設てくとこせと)

2020年はコロナにやられっぱなしで、全くもってついてない一年、このまま「おしまいデス」になりそうです。コロナさえ無ければ、6月には恒例のプロ野球交流戦の観戦に仙台まで行ってたはずで、その応援が流れたせいか、今年も優勝を逃してしまいました。そんな一年で、数少ない有難いことは、思いがけなく「定額給付金、コロナ対応従事者慰労金、及びGo Toトラベル」の恩恵にあずかったことぐらいです。

「人生万事塞翁が馬」、来年こそは吉事が重なる一年であることを期待しています。



●運営委員 四宮成晴

(四宮計画事務所)

施設に預けている家族に全く見えなくなりました。施設からは、県外出張の多い自分に「万一、知らぬ間に県外でもらい、ここに持ち込まれては、ほぼほぼ高齢者で占める施設、入所者総倒れになる」と嫌われる。仕方がない。我が家のコロナ禍での一番大きな変化である。



●運営委員 田中希和

(公益財団法人高知市文化振興事業団)

・朝の電車が混むので通勤を車や徒歩→夏は暑くて徒歩やめる
・飲酒量が減った
・Amazon prime で「三匹のおっさん」を見て北大路欣也さんブームが到来
・よさこいのない夏に違和感
・流行りのオンライン飲み会は県外にいる友達としかしなかった
・オンライン飲み会で他の人の食事が気になる→「今日のメニュー」が最初の話題になって全員がご飯紹介→レシビが増える
・舞台作品の配信でありがたさと物足りなさを実感
・DVD 購入しがち
・家ではスマホ放置でDVDやYouTubeを観る→LINEなどに翌日まで気付かない(ごめんなさい)
・デスクワークが増えて視力低下が気になる…ブルーライトカットの眼鏡が手放せない



【運営委員の役割は？】

助成を決定する審査員の役割を担うとともに、公開審査会、中間発表会、最終発表会では団体へのアドバイスも行っていきます。多彩な顔ぶれの9名で構成されており、幅広い目線と価値観でファン運営にかかわっています。

●運営委員 中平大輔

(社会福祉法人 昭和会 福祉事業所 えぼし)

1月に娘が生まれてからというもの、コロナに限らず感染予防対策を行いながらの育児となりました。おかげさまで大病もなく、健やかに育ってくれています。不要不急の外出は自粛される中、家庭菜園が流行っていると聞きました。私も以前から趣味で始めていた家庭菜園に拍車がかかり、4月にオクラを植えて以降、パプリカや子どもピーマン、スイカなど気づけばこれまでに20種類以上の野菜が育ちました。その野菜たちは娘の離乳食にも。食べる姿を見ては幸せを感じています。休みの日は畑でかけ、コロナに敏感でどこかビリビリした空気感から離れ自然を感じています。

コロナは人間が本来、大切にしなければならぬ日々の営みを改めて教えてくれます。



●運営委員 花岡英里子

(高知大学)

大学3年生の私は今、学校の授業も就職活動も、すべてオンラインで取り組んでいる。オンラインが主流になったことで、東海や関西にいる先生の授業を受けられたり、東北や関東にある企業のセミナーに参加できたり、全国各地の若者と対話ができたりしている。遠方の人と交流がしやすくなったことは、コロナの恩恵だと感じている。しかしオンラインだと、社会とのつながりを実感しにくい。そこで町へ出向く。そうすると、人の温かみや町の移ろいが感じられ、「ああ、私は今高知にいるのだ」としみじみと感じられる。

町へ出向くことの楽しさを、一層感じられるようになったのも、コロナの恩恵である。

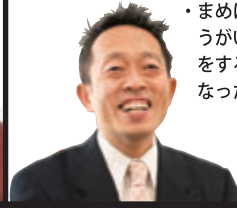


●運営委員 宮地貴嗣

(ラ・ヴィータ宮地電機株式会社)

・無駄な出張や会合が多かったことに気づく。
・時間とお金をかけて、行かなくてもいい出張に行っていた。今後は見直すことが必要。
・いいながら、やはり、人と人が会うことも重要。
・コミュニケーションを取る機会が減ると、信頼関係を損なうことも出てくる。
・人は、(日本は)安全・安心を第一にする人が多い。危険を冒さない。
・zoomなどのweb会議、web飲み会が、簡単にできるようになった。

・まめに手洗いうがい、消毒をするようになった。



2021.01.24

意見交換会開催しました



▲運営委員長がオンラインで参加



▲お互い良い刺激になりました

コロナ禍での開催となった為、参加者は2019年度助成団体の6団体(各1名)と少人数で、1時間15分の短時間開催となりました。また、増田運営委員長にはオンラインで参加いただきました。参加者からは、「こんな時期だからこそ気にかけてくださる方や企業もあって、ありがたい」「新しく小・中学生の防災士も誕生し、2月から活動を再開していく」「コロナ禍でこれまでの活動の本当の良さに気づくことができた」「2021年度事業はオンライン開催を計画中。もちろん直接皆が集まった方などに知ってもらいたい」「SNSやDVDを使い県外の方とも連携しながら進めた」「子ども達と話す機会が極端に減った。本来のあるべき姿にこれから自分達でしむけていくことが大切」といった声が聞かれました。どの団体も、厳しい状況下、現実を受け入れ、工夫し、新しい目線で次に向かっていこうという意気込みが伝わり、お互いに良い刺激となりました。

最後に、増田委員長から、「コロナ禍がこれまで忙しかった時間をすべて止めているが、みなさん、その時間をこれまで出来なかったことへの対応、ふりかえり、さらにはやってきたことをもっと深めたり、そういう時間になっている。これからは、色んな世代とのつながりを切らずにつないでいき、本来あるべき姿の、顔をあわせ、汗をかき、地域に広げて行くことが大切」と総括をいただきました。

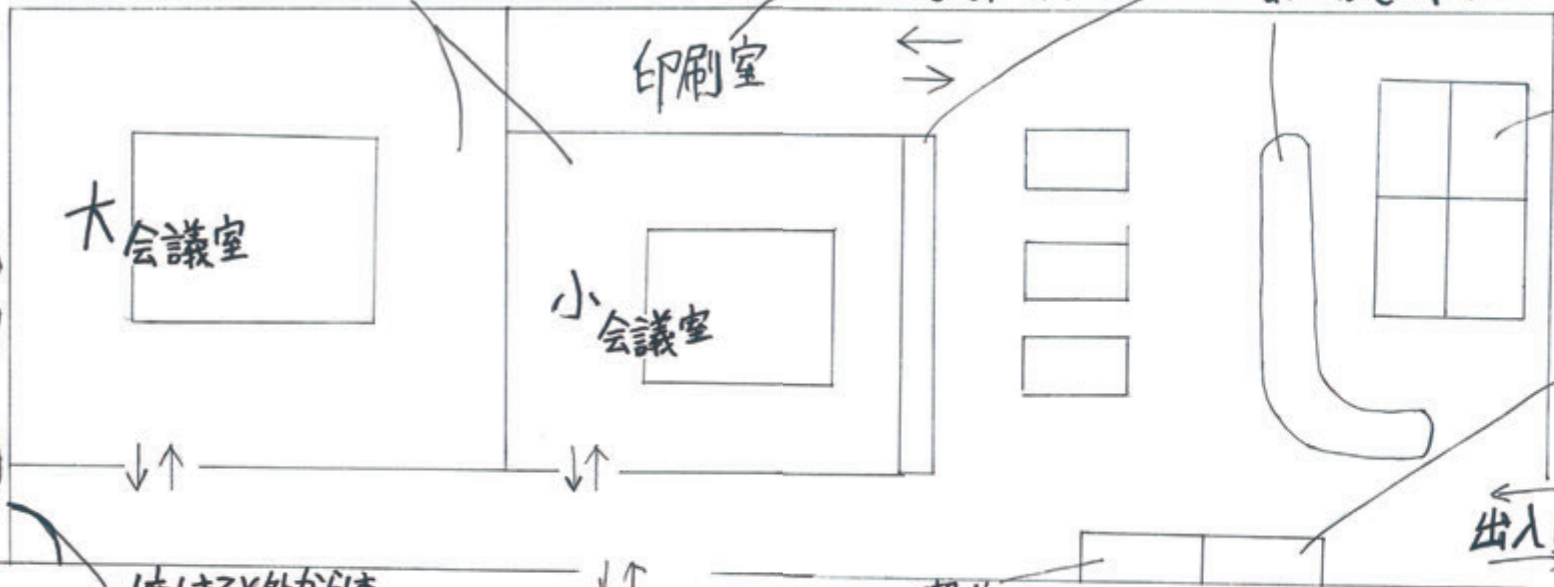
サポセン のココが凄い

【女児実備品たち】

サポセンには、実は隠された秘密道具が盛り沢山なのです。基本的な文房具。穴あけパンチやメモ用紙、老眼鏡もあり。故に何かしら便利なのです！しかも、僕が思うに他の施設との差別化も出来ていると思えますよ。自由に備品を使用できるのは自分で準備する手間が減りますね！

こりもめ良い！
文房具を借りた後に、会議室も予約すれば子供いもでも大人顔負けの会議が出来たりわ。

集団で計画を



印刷コーナー
お手軽印刷

たくさんのインレット
あんなものやなつかしいものまで！

スタッフデスク
個性ある机周り
をのびてみよう！

貸出図書
おすめの本は
意外なものかも？

市役所
はココ。

出入口

喫茶スペース
つながしのCreapもあるよ

3.居心地いい！

2.お手軽印刷環境

文房具に並んでサポセンでは印刷も。一応有料ですが... それで100円でチラシがつかれるのだから！垂れ幕の印刷機や自動で紙を切ってくれる機械など。バリエーションは意外に低価格で印刷ができる施設ですよ。僕も「子育て」は知

印刷も自由に行うことができて
もなんのこの価格！
一般的な印刷機から、
折をしてくれる機械
豊富なのですよ！
設けようとは思わなかったもの。

時流を感じるこの空間。サポートセンターで、
フーのお供であるCreapも親世代の人々
には馬鹿力のあるもの、最近の子供たちには
まったく知らなかったり。若干家庭的な空気を
感じさせてくれるものですね。実は、貸し出し
図書もあって、おすめの本にはズバリとメッセージ
が添えられており興味をそそられます。
事務所という雰囲気は否めないものの、
ユニークなスタッフ達や時の流れを感じる
道具の数々に囲まれ、今日もサポセンはほんわか
した雰囲気も漂っていますよ。

尾崎昭仁(こどもが運営おお)「とさつタウン」

宮川耕平(Village Jamboree)

矢田正江(ファンドレイジングプロジェクト)

池田剛(公益信託、高知市まちづくりファンド運営)



打ち合わせや資料作成に
必要なものが無料で
たくさん利用できます！



見える所に光
あり普段普通に
生活している中では
見つけられな事は
多いです。放してみま
しょう。



笑顔が素敵な職員
がお待ちして！お手軽
に相談にのりますので市
民活動されている方、参加
してみようと思っいる方は
是非一度お遊しくたさい。



20年の歴史の中で様々
なジャンルの事業を実施。
たくさんの団体、人と関わっ
てきました。老若男女で新しい
ことにチャレンジできる風土が
一番の魅力です。

サポセンって?

調査・研究

変化の激しい現代社会において、課題や成功事例、仕組みなどを様々な視点で分析し、今後の発展のために取り組んでいきます。

☆主な事業

- 「こうちNPOフォーラム」
- 「ファンドレイジングプロジェクト」
- 「公益信託高知市まちづくり運営」
- 「交通まちづくり」
- 「企業とのパートナーシップ事業」

人材育成

とさっ子タウン

TOSACCOTOWN

これから高知を変えていく人材の育成、きっかけづくり。また、さらなる飛躍とイノベーションを期待して、情報提供の場をついています。

☆主な事業

- 「とさっ子タウン」
- 「工佐志民大学」
- 「ボランティアガイド」
- 「まちづくりトークcafé」

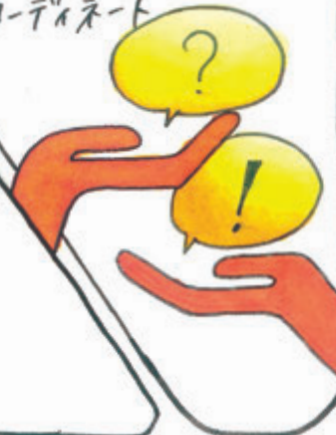
広報・啓発

助成金情報や事業報告、団体の活動紹介などを、広報誌やSNSで幅広く情報発信しています。

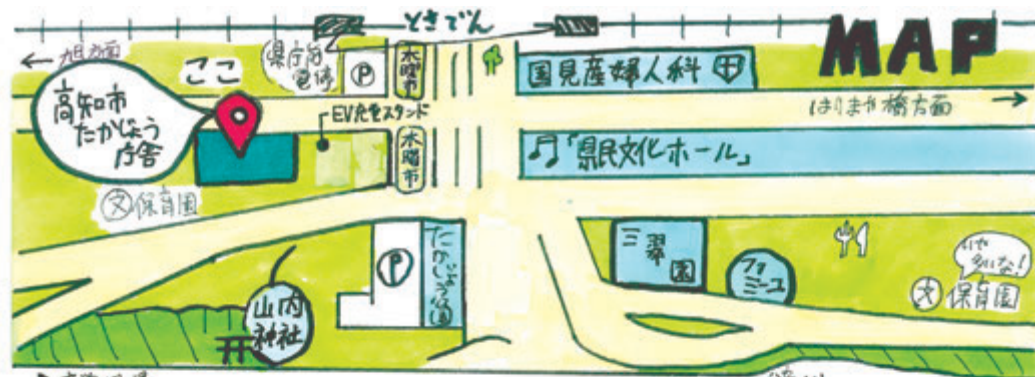


相談・アドバイス

- 市民活動やまちづくり活動をする上での相談・アドバイス
- 要望の実現に向けて様々な情報提供、NPOや行政機関とのコーディネート



高知市活動サポートセンターは、市民が行う自由で、営利を目的としない社会貢献活動を支援する目的で設立。



このたび、今話題の学生チーム「Village Jamboree」のみなさんに高知市市民活動サポートセンター、通称「サポセン」の取材をお願いしました。サポセンは公益信託高知市まちづくりファンド、通称「まちフェス」の事務局があります。他にも様々な事業を実施し、市民活動やボランティアのお手伝いをしています。さて中学生の彼らの目にはどんなに映ったでしょう?

Village Jamboree

「想い描くカタチを、実現させていく。」
愉快でビッグな仲間たち、
「Village Jamboree」です。
2019年8月~12月
月刊「ATAGOBITO」発行
「こうちこどもファンド」の令和元年度助成事業

- SNS等 —
- Instagram @villagejamboree
 - YouTube Village Jamboree
 - Gmail VillageJamboree@gmail.com

Let's check!!



35&36 合併号

まち マガ



まちづくりニュース

公益信託高知市

あなたがつくる、
この町のページ。

NEWS